※令和４年度以降入学生用

学校番号	3022

令和８年度　商業科

教科	商業	科目	エンドユーザー コンピューティング	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	令和７年度版　全商　情報処理検定　模擬試験問題集　ビジネス情報２級 令和７年度版　全商　情報処理検定　模擬試験問題集　ビジネス情報１級 ↑（※　２年次に使った前年度の問題集を引き続き使用する） 令和８年度版　全商ビジネス文書実務検定　模擬問題集　１級						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コンピュータの各種ソフトウェアの知識・技術を習得し、ビジネス活動や日常生活にコンピュータをより活用するための態度を養います。
・実社会の実務において、円滑に業務をサポートするために、必要となるエクセルの知識を習得していくことを目的とします。
・特に、関数を使用したデータの作成、データベースの理解、エクセルデータの関数のトレース、簡単なマクロ作成などを学びます。
・学習方法については、２年次においてソフトウェア活用の延長線上として、ビジネス業務をよりよく効率的に分析し、創造的な活用方法にいかすための考え方を学んでもらいたいです。

2　学習の到達目標

1. 知識及び技術：ビジネス活動や日常生活に利用されるソフトウェアの知識・技術の応用を習得する。
2. 思考力、判断力、表現力等：コンピュータ等の情報端末がビジネス活動や日常生活にどう利用されているか、またどのような課題があるかを考察することができる。ビジネス業務をよりよく効率的に分析し、創造的な活用方法に活かすための考え方を身に付ける。
3. 学びに向かう力、人間性等：自発的にコンピュータなどの情報端末を活用し、知識・技術を将来のキャリアや自身の生活に活かすことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	エクセルの関数やグラフなど、ソフトウェアの活用について実務を意識した知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業活動におけるエンドユーザーコンピューティングの役割を理解し、問題や課題を発見し、対処することができている。実務において、他者が困っている部分を把握し、ソフトウェアを使用しサポートしようとしている。	企業活動を改善する力の向上をめざして自ら学び、企業活動におけるエンドユーザーコンピューティングの活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	企業活動とEUC	EUC の意義と重要性を理解する。 社会で利用されている情報システムの例や，ビジネスにおけるソフトウェアの活用の実例を学ぶことにより EUC の重要性を理解する。 EUC の活用例と目的を理解する。	a: EUC の意義と重要性について考え，理解することができている。 情報通信システムの特徴や処理方式の概要を理解し，ソフトウェアの具体的な利用例を理解することができている。 b: ネット通信ビジネスにおける情報通信システムに関心を持ち，各種決済システムなどの，ソフトウェアの意義や役割を考え，理解することができている。 c: ビジネスにおける EUC の役割を理解し，これを活用するための知識や技術を積極的に身に付けようとする態度を持っている。	定期テスト 問題集 プリント 小テスト 授業態度	定期テスト 問題集 プリント 小テスト 授業態度	問題集 プリント 小テスト 授業態度

※令和４年度以降入学生用

2	表計算ソフトウェアを意識したEUC	表計算ソフトウェアを通して、情報の集計と分析について理解し、様々な集計や分析方法、集計した情報から、分析結果を適切に表現する能力を身に付ける。 EUC の目的に応じて適切な手法を活用する技術を身に付ける。 マクロの記録機能を用いて、手続きの自動化の考え方を理解し、基本的な技術を身に付ける。	a: 表計算ソフトウェアを通して、情報の集計と分析について理解し、様々な方法で分析する能力を身に付けるとともに、分析結果を適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組むことができている。 b: 表計算ソフトウェアを通し、オペレーションズ・リサーチの基礎について理解し、目的に応じて適切な手法を活用する技術を身に付けるとともに、適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組むことができている。 c: マクロの記録機能を用いた手続きの自動化について理解し、主体的かつ協働的に取り組むことができている。	定期テスト 問題集 プリント 小テスト 授業態度	定期テスト 問題集 プリント 小テスト 授業態度	問題集 プリント 小テスト 授業態度
3	実務を意識したEUC	情報資産を保護するため、ソフトウェアの脆弱性への対応や、リスクを適切に管理する方法について理解するとともに、情報を共有するためのアクセス権の設定や，暗号化の種類、データのバックアップなどについての基本的な技術を身に付ける。	a: 情報資産を保護するためソフトウェアの脆弱性への対応や、無停電電源装置の活用などのリスクを適切に管理する方法について理解している。 b: 情報を共有するためのファイルとフォルダのアクセス権の設定や、暗号化の種類，データのバックアップなどについての基本的な技術について理解している。 c: 情報資産を保護することの重要性を理解し、適切なリスク管理の必要性を理解しようとしている。	定期テスト 問題集 プリント 小テスト 授業態度	定期テスト 問題集 プリント 小テスト 授業態度	問題集 プリント 小テスト 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度